

静岡病院ニュース

順天堂大学^{医学部}附属静岡病院

〒410-2295 静岡県伊豆の国市長岡1129 TEL 055-948-3111

No. 54
2013年1月10日



(修善寺・竹林の小径)

新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。今年も順天堂にとって特別な年です。佐藤泰然先生が江戸に西洋医学の塾を開いたのが順天堂の始まりですが、それから175年になります。現在、順天堂は4学部、6病院体制ですが、その他大学院にも多くの学生が在籍しています。また、病院全体では3000床を超える数の病床を持っています。これだけの規模になったのは先人たちの努力のたまものであり、また地域の皆様が支えてくださったおかげと感謝しております。この175周年を記念して、本郷では古い病棟の建て替えが進んでいます。

さて、静岡病院でも新たな年を迎え、気分を一新して地域医療に取り組んでまいります。本年の最も大きな変化は、救急診療が改善したことです。今までも救急には取り組んでまいりましたが、昨年末から新たに数名の救急医療の専門医をスタッフに加えました。今まで以上にスムーズで充実した救急医療を提供できると思います。

病院のハードの面では、一昨年の4月から開始した病院の耐震化が3月で完成します。東海地震の危険性が迫っているなか、この工事で病院全体の耐震化が終了します。当院は災害拠点病院に指定され、また伊豆の国市の救護所でもありますから、耐震化は是非必要なものでした。静岡病院はより安全な信頼できる病院として頑張っております。



病院長

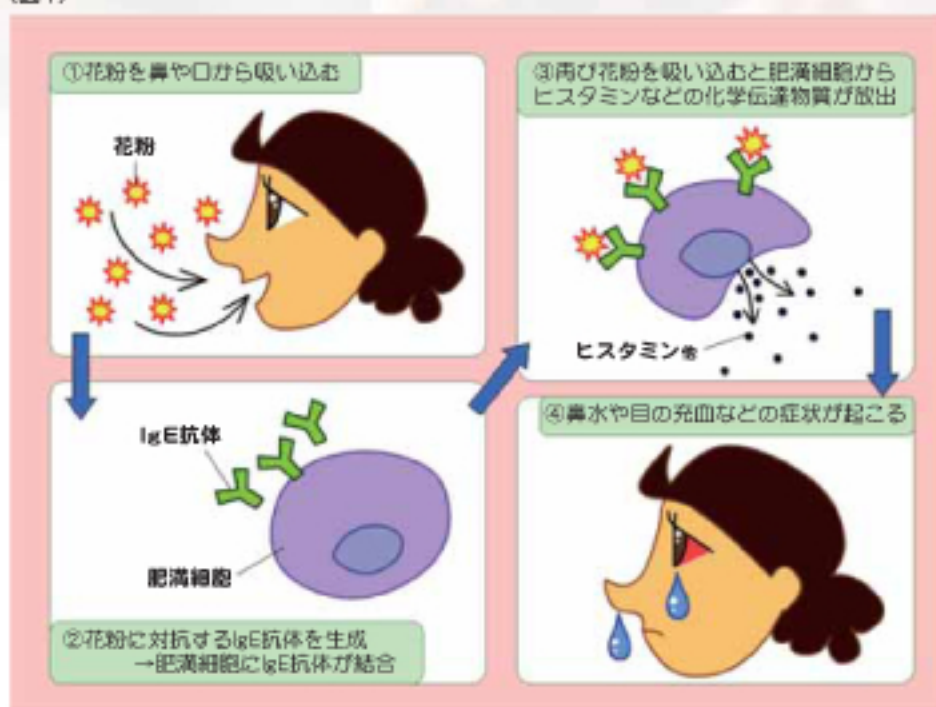
三橋 直樹

アレルギー性鼻炎 (花粉症)の治療について

耳鼻咽喉科 准教授 伊藤 伸

アレルギー性鼻炎は、発作的に繰り返して起こるくしゃみ、はなみず、はなづまりの3つの症状を特徴とする病気です。アレルギーは体の中に入ってきた異物を体の外に出そうとする生体防御反応と考えられます。アレルギー性鼻炎は呼吸とともに吸い込んでしまう空気中の微細な物質(抗原)が原因となります。その代表的なものが高アスタスト(家の塵やその中のダニ)や、スギなどの花粉です。特に花粉が原因で鼻や眼に起こるアレルギーを「花粉症」と呼び、今や日本人の10人に2〜3人が花粉症を発症していると言われています。(図1)

(図1)



①抗原の回避ですが、花粉の回避法としては花粉予報に注意して、花粉量が多い日は外出せず、窓やドアを閉めることです。外出の日は花粉用マスクが有効です。ハウスダストが抗原の場合には、たみ、毛布、マットレス、じゅうたんをよく直射日光にあて、乾燥させたりして、ダニを取り除くことです。

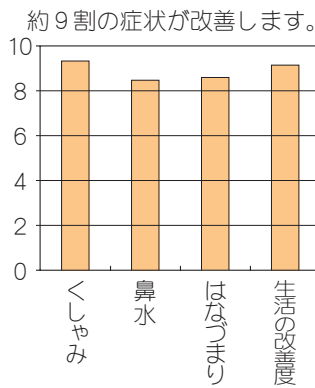
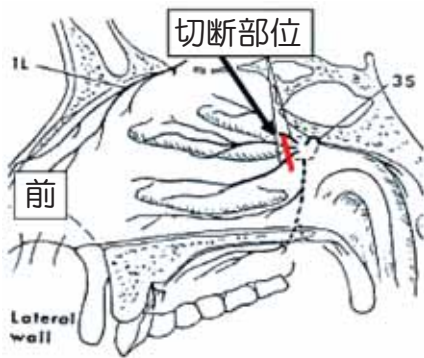
②薬による治療では、治療目的と症状を考慮して、適切な薬を選択することが必要です。花粉症のように症状発現が予測できる場合は、症状が発

現する前から、予防的な薬の使用方を考えるほうが有効と言われています。

③薬物療法に依存、あるいは抵抗する場合に手術療法が選択されることがあります。当科においても重症の鼻アレルギー症例では、粘膜下下甲介骨切除とともに後鼻神経切断術を施行しております。(適応は、鼻アレルギー診療ガイドラインの重症度分類にて重症以上の場合に行っています。)

粘膜下下甲介骨切除術の特徴として、下甲介骨積の減量と鼻腔形態の改善があり、肥厚した下甲介骨には効果的であり、また骨は再生されないため物理的に術後の再狭窄を起こしにくいと考えられます。後鼻神経切断術は、後鼻神経を翼口蓋神経節より末梢で切断することより、鼻汁分泌に関与

(図2) 後鼻神経切断の方法と症状の改善度

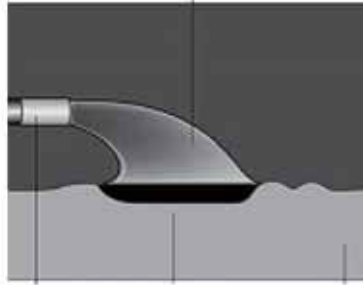


する神経の一部を切断し、鼻汁分泌とくしゃみ発作に対して強い抑制効果を保つと考えられます。従来の手術方法ですと、ドライアイと上あごのしびれなどの合併症がありました。現在の改良された方法ではほとんどなくなりました。(図2)

また最近では外来日帰り手術として、アルゴンプラズマ凝固法による下甲介焼灼術を行っています。特徴としては短時間で日帰りにて可能であること、薬からの開放を得られることとがあげられます。また、短所

(図3) アルゴンプラズマ凝固法鼻内焼灼風景

アルゴンプラズマビーム(アルゴンガスと凝固電流を融合)



プローブ 表層を凝固 組織



呼吸器外科は近年、増加の途をたどる肺癌を中心に、気胸、膿胸、胸部外傷などの疾患に対し手術をもって幅広く診療に当たっております。中でも肺がんは診断時に手術可能な方は全体の約半分、手術を完遂された方の全体の5年生存率も約半分とまだまだ予後不良のがん腫であります。しかし、近年CT技術の発達により無症状の小型肺がんの早期発見例が増加するとともに、従来よりも少なく

を摘出する積極的縮小手術で根治が得られる症例もかなり増加してきました。一方で喫煙を背景とし、症状で発見されるいわゆる「大きながん」の方も依然多く、肺以外の臓器を時には合併して切除する拡大切除の適応例もあります。良性疾患、感染性疾患、悪性疾患を問わず我々は手術の適応を常に患者さんのおかれた状況から適切に判断し、日々診療にあたっています。



呼吸器外科
科長 阪野 孝充
ばんの たか みつ

職員紹介

としては高度病変の場合改善が不十分である可能性、術後2年以内に効果が切れてしまうことです。(図3)

以上のように、耳鼻咽喉科では様々な症状に適したオーダーメイドな治療法を提供することが可能です。是非、御自分に合った治療法を御選択ください。

がん治療センターに おける看護師の役割

がん治療センター看護師主任
がん看護専門看護師

遠藤 和代

医療の進歩などにより外来での抗がん剤治療が可能であり、当院がん治療センターにおいても多くの患者さまが治療を受けています。外来治療は、家事や子育ての仕事などを行いながら継続することが可能です。がん治療センターの看護師は患者さまやご家族が治療継続中に自宅で困らないよう支援する役割を担います。抗がん剤治療は、数ヶ月以上に渡り継続する治療であり副作用症状が伴いやすいため、治療中の過ごし方や副作用対策への支援を行います。私たちは、患者さまやご家族の気持ちを理解し、心の整理を手助けしたり解決策を一緒に考えたりしながら、悩みが少しでも解決できるように支援しています。

災害用テント 展開実施訓練について

救急診療科 卯津羅 雅彦

平成24年10月26日の院内消防訓練実施日に併せて、伊豆の国市より提供されました、災害用テントの展開訓練も開催させていただきました。

このテントはエアータントであり、自家発電器を用いて展開し、また内部で照明設備を使用することも可能です。

災害時の当院に対するニーズにも異なりますが、院外における1次トリアージ、救護所、簡易ベッドを入れれば8名程度の経過観察ユニットの運用も可能です。また、召集した病院職員の休憩所としての利用も可能と考えています。

災害時の実際の運用には、医薬品、水や食料の手配に加え、病院の災害時診療体制とリンクした傷病者の動線を確認する必要があります。

今回、3回にわたるテント展開を病院職員だけでの訓練も実施できたことから、今後は実際の災害時医療活動を念頭に置いた訓練を企画実行して、有事に備えたいと考えております。



お知らせ

患者さまをご紹介頂く先生方へ

当院では、効率的な診療を受けていただくために、専用の診療情報提供書をご用意しております。専用の診療情報提供書をご希望の場合は、電話またはFAXにて下記へご請求下さい。

請求先：順天堂大学医学部附属静岡病院 医療サービス支援センター医療連携室

電話：055-948-3111(内線)3550

フリーダイヤル：0120-78-9914

FAX：055-946-0858